

# 官報

號外 昭和二十年十二月十四日

## ○第八十九回 衆議院議事速記録第十三號

昭和二十年十二月十三日(木曜日)

午後一時五十四分開議

議事日程 第十二號

昭和二十年十二月十三日

午後一時開議

第一 國家總動員法及戰時緊急措置法廢止法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス〕

一、昨十二日貴族院ヨリ受領シタル政府提出案左ノ如シ

國家總動員法及戰時緊急措置法廢止法律案

一、議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

森林ノ整備ニ關スル建議案

提出者

小柳 牧衛君 小山邦太郎君

木下 義介君 田中 政治君

(以上十二月十二日提出)

一、昨十二日幣原內閣總理大臣ヨリ左ノ通發令アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

專賣局長 長沼 弘毅

第八十九回帝國議會大藏省所管事務政府委員被仰付(十二月十一日附)

一、昨十二日衆議院規則第十五條但書ニ依リ議長ニ於テ議席ヲ左ノ通變更セリ

三一〇 山形縣第一區選出議員 坂本宗太郎君

三七五 三三五 坂本宗太郎君

一、昨十二日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ

昭和二十年勅令第五百四十二號(ボツダム)宣言ノ受諾ニ伴ヒ發スル命令ニ關スル件(承諾ヲ求ムル件)貴族院送付(委員)

委員長 小山 谷藏君

理事 伊豆 富人君 今牧 嘉雄君

南雲 正朔君 中谷 武世君

一、昨十二日ニ於ケル特別委員理事補闕選舉ノ結果左ノ如シ

農地調整法中改正法律案(政府提出) 出(委員)

理事 馬岡 次郎君(理事越智 太兵衛君昨十二日理事辭任ニ付其ノ補闕)

勞働組合法案(政府提出) 委員

理事 永山 忠則君(理事喜多 壯一郎君昨十二日委員辭任ニ付其ノ補闕)

一、昨十二日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ

農地調整法中改正法律案(政府提出) 委員

辭任前田 善治君 補闕高城 憲夫君

辭任長内 健策君 補闕楠美 省吾君

農業團體法中改正法律案(政府提出) 外一件委員

辭任大石 大君 補闕加藤 知正君

勞働組合法案(政府提出) 委員

辭任村松 久義君 補闕藤原 雄次君

辭任羽田武嗣郎君 補闕逢澤 寬君

辭任喜多壯一郎君 補闕永山 忠則君

昭和二十年勅令第五百四十二號(ボツダム)宣言ノ受諾ニ伴ヒ發スル命令ニ關スル件(承諾ヲ求ムル件)貴族院送付(委員)

辭任竹内 俊吉君 補闕小山 亮君

○議長(島田俊雄君) 是ヨリ會議ヲ開キマス

○長野高一君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此ノ際一宮房治郎君外五十名提出、戰災復興促進決議案ヲ議題トナシ、其ノ審議ヲ進メラ

レンコトヲ望ミマス

○議長(島田俊雄君) 長野君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(島田俊雄君) 御異議ナシト認メマス、政府ハ此ノ議事日程變更ニ同意セラレマシタ、仍テ日程ハ變更サレマシタ、戰災復興促進決議案ヲ議題ト致シマス、其ノ趣旨詳明ヲ許シマス

一 眞鍋儀十君

戰災復興促進決議案(一宮房治郎君外五十名提出)

戰災復興促進決議案

戰災復興促進決議案

新日本ノ平和的建設ハ眞ニ前途荆棘ニ充ツ憶フニ未曾有ノ戰災ニ遭遇シ

テ國力ハ銷盡シ同胞ハ或ハ非業ノ死ヲ遂ケ或ハ家財ヲ喪ヒ焦土ノ中ニ彷徨セリ

政府ハ之ニ應ヘテ機關ヲ設ケ計畫ヲ進ムト雖モ未タ適切ナル施策ノ講セラレタルヲ見ス而モ依然トシテ官僚的事務ニ踴躍シ徒ニ机上ノ計畫ニ晏如タルノ感ナクシテハアラス斯クテハ食糧ノ窮乏ト追リ來レル寒氣ヲ前ニシテ倍々戰災同胞ヲ苦難ノ淵ニ沈瀆セシムルノ外ナシ

仍テ政府ハ連ニ民生ノ安定ヲ確保シ經濟ノ再興ヲ促進スル爲萬難ヲ排除シテ強力果敢ニ拔本塞源ノ復興施策ヲ斷行スヘシ

右決議ス

〔眞鍋儀十君登壇〕

○眞鍋儀十君 私ハ茲ニ各派ノ共同提案ニナリマスル戰災復興促進決議案ノ趣旨ヲ詳明致シタイト存ジマス

嚴シイ敗戦ノ現實ハ、私共ニ固ヨリ荊ノ道ヲ切拓イテ進マナケレバナラヌ忍苦ヲ覺悟致サセテ居リマス、此ノ意味ニ於テ戰災者ト雖モ、此ノ忍苦ニ克チ得ナケレバナラナイコトハ固ヨリデアリマス、併シ此ノ敗戦ノ現實ノ中ニ、其ノ名ニ隠レテ政府ノ無能怠慢ハ許サルベキデハゴザイマセヌ(拍手)政府ハ速カニ新日本再建ノ國土計畫ニ基キ

シテ、平和的都市ノ建設ニ政府自身トシテノ所信ヲ表明シ、國民ニモ亦懸命ノ努力ヲ求メナケレバナラス管デゴザイマスノニ、現實ハ私共ヲシテ遺憾禁ゼザルモノガ多クイノデアリマス、特ニ新ナル構想ノ下ニ國土計畫ヲ立テマスルノニハ、二百餘ノ大都市ガ戦火ノ慘害ヲ受ケ、三百萬戸ニ垂ントスル、一千萬人ニ互ル大慘害ヲ受ケマシタ今日コソ、政府ガ最モ新國土計畫ヲ立テマスルノニハ絶好ノ機會ダト存ジテ居リマス、更ニ財閥ノ解體モ行ハレマシタ此ノ際コソ、私ハ特ニ此ノ政府ノ努力ヲ必要トスル時期ガ到来シテ居ルモノト思ヒマス、今期議會ニ提出サレマシタ農地調整法ノ如キハ、小作人ニ農地ヲ與ヘルノ制度ヲ確立致シマス、然ラバ借地人ニハ土地ヲ、借家人ニハ家屋ヲ、各々都市計畫ノ上ニ於テモ示サルベキデアアルノニ、政府ハ其ノ片鱗ヲダニ示シテ呉レナイノデアリマス、今ヤ日本ノ商工業ノ中心タルベキ都市間題ハ先ヅ人口配分ノ上カラ申シマシテモ、最モ切替ノ時期ニ直而致シテ居ル、農村ハ最近食糧問題ノ爲ニ凡ユル努力ヲ集中致シテ居リマスケレドモ、其ノ包容力タルヤ恐ラク日本人人口ノ五割五分ヲ出デナイデゴザイマセウ、假ニ七千五百萬人ト致シマシテモ、四割五分

タル三千五百萬人ノ人口配分ヲ如何ニスベキヤノ國土計畫ニ付テハ、現在ノ政府ガ逸早く我々ニ示サナケレバナラヌ根本的ナ問題デナケレバナラス管デアリマス、之ニ付キマシテモ都市計畫ノ基準ヲ示サナケレバナラス、今ヤ敗戦ニ依ツテ虚脱状態ニ陥ツテ居ル、此ノ政府ガ國民ニ何等ノ示唆ヲモ與ヘナイト云フコトハ、今日ノ都市ガ戦災其ノ儘ノ姿ニ於テ依然トシテ敗戦ヲマザマザト見セケラレテ居ル、赤キ煉瓦ヤ、或ハ酸化シツ、アル金屬ノ現狀ヲ見テモ分リマスルヤウニ、此ノ戦災都市ニ對スル政府ノ冷淡サハ洵ニ慨嘆ニ堪ヘヌモノガゴザイマス、今ヤ失業者數ハ六百萬人カラ一千萬人ニ垂ントスルト言ハレテ居リマスルガ、ヨカシナ言ヒ方デハアルケレドモ、其ノ失業群ノ給源地ハ、大體ニ於テ此ノ戦災地デゴザイマス、都會ノ現在ノ實相ヲ政府ハ何ト見テ居リマスカ、手近イ例ヲ探リマシテモ、東京都ノ盛り場ガ最近股賑ヲ極メテ居ルガ如キハ、之ヲ以テ都市ガ復興ニ向ヒツツアルガ如ク感違ヒスルコトハ大變ナ政府ノ間違デアリマス、今ヤ都市ハ何ヲナシツ、アルカ、闇市ノ品物ヲ求メテ闇ノ品物ヲ叩キ、其ノ闇ノ價格差ノミガ彼等ノ生活ノ資料トナツテ居リマス、サウシテ此

ノ闇ノ循環ガ唯一ツノ増産ニモナツテ居リマセヌ、物價ノ問題ニ關スル限リ全ク無政府状態デゴザイマス、洵ニ斯様ナ例ヲ申シマシテハ細カ過ギルヤウデハゴザイマスルガ、巷ニハ先般ノ寶籖ノ空糞ヲ買ヒ集メテ居ル者ガゴザイマスガ、是等モ一圓ニ買ツテモ、二圓ニ買ツテモ、十圓ニ賣レレバ四本デ煙草ノ闇商賣ガ成立ツノデゴザイマス、殊ニ洵ニ痛マシイノハ復員軍人ガ初メテ故山ニ見エテ家ヲ失ヒ、肉親ニ別レ、僅カニ貰ツタ復員手當ヲ食ヒ盡シタ後ハ、問題ノ支給セラレタル被服ヲ糶ニ掛ケテ、而モ其ノ糶ノ價格ヲ必要ノ一定價格ヨリ下ゲナイガ爲ニ、其ノ被服ノ難値ガ足りナケレバ「シャツ」ヲ加ヘ「ゲートル」ヲ添ヘテ必要ナ價格ヲ求メテ生計ヲ立テテ行カウトスル現狀ヲ政府ハ何ト見テ居リマスカ、郵便局ノ門前ニ列ヲナシテ居リマスモノハ、農村ノ懐ロカラ百圓ノ札ビヲ切リ貯金ニ引替ヘテ、僅カノ殘高ヲ氣遣ヒナガラ十圓、二十圓ト貯金帳カラ引出シテ行ク術ノ者ノ正直ナ姿ヲ見テ下サイ、斯ウシタ都會ノ生活ガ、是カラ重キ荷ヲ背負ツテ起チ上ラナケレバナラナイ日本ノ中心都市ノ姿デアツテ宜カラウカ、此ノ都會ノ復興ノ遅々トシテ進マザルノ結果ハ、近

郷ヨリ通ツテ來ル者モ唯東京ニ入ツタキリデ、其ノ日ノ職ナク、又家ヘト戻ツテ居ル所ノ實情ハ、アノ殺人的ナ汽車ノ中デ採マレ抜イテ東京ニ來テ、一日ノ職ヲ得ナカツタ爲ニ、三回ノ映畫ノ見直シヲシテ、夕方又其ノ殺人的ナ近郷ノ汽車ニ乗ツテ自宅ニ通ツテ外見ヲ繕ツテ居ルト云フ此ノ實情ハ、働ク意思ガアツテ働クコトガ許サレナイノデアリマス、又御承知ノヤウニ上野驛頭ノ如ク殺到シテ居ル人達ガ、汽車ニ乗ツテ何時間、何十時間カノ後ニハ、自分ノ身體ヨリ重イ物ヲ身ニ附ケテ又驛頭ニ現ハレテ居ル、此ノ混雜ガナンデ敗戦日本再建ノ姿ガアリ得ルカ、政府ハ仰々シクモ何十萬戸ノ住宅ヲ國民ニ與ヘルト、屢々發表サレマシタ、サウシテ今與ヘラレテ居ル現實ハドツデアルカ、此ノ師走ノ寒空ニ隙間漏ル風サヘ塞イト云フノニ、アノ建具サヘナキ壕舎ニ親ガ子ヲ抱ヘテ、寒サヲ凌ギナガラ深ヘテ居ル此ノ現狀ハ、是デ政府ガ何十萬戸ノ計畫ダケデ要如トシテ居ラレ得ルヤ、政府ノ標準型ト云フオ得意ノ簡易住宅モ、六坪二合五勾デ、狭イナガラモ出來サヘスレバ固ヨリ我慢シナケレバナリマセヌ、何ヲ標準ニ之ヲ建テサセヨウトナサルノカ、二千三百圓ガ四千圓ニナツタト云フ、ソレ

デ一體罹災者ハ住マヘルト考ヘテ居レルカ、唯骨組ダケノ此ノ金額ハ、實ニ何倍カノ闇値ニ當ル附屬建具ガナケレバ人ノ住ヒニハナリマスマイ、只今大工賃ガ四十圓カラ五十圓ガ相場デアリマセウ、障子骨ガ一枚デ百二十圓、障子紙ガ一本デ二十圓カラ二十五圓、硝子ノ尺角ガ一枚十圓、疊ガ大體ニ於テ百五十圓、「トタン」デアレバ一枚六十圓ダカラ、坪デハ百五十圓、瓦ニスレバ三百圓、サウ言ツタモノヲ寄セ集メナケレバ政府ノ呉レル二千三百圓ノ家屋ニハ住宅トシテノ價值ハ生ジテ來ナイノデアリマス、僅カ三千圓ノ保險金ヲ貰ツタ、其ノ元手ガ何時マデ續クト考ヘテ居ラレルカ、今少クトモ此ノ標準型ノ家デスラ正直ニ請負ニ掛ケレバ一萬五千圓デアリマス、而モ其ノ家屋スラ中々手ニ入ラナイ現狀デアリマス

私ハ經營的天才ト謳ハレテ居ル小林復興院總裁ガ就任セラレ、必ズ奇想天外ナ名案ヲ以テビシク解決シテ行カレルトト、國民ト共ニ期待ヲ致シテ居リマシタ、冥想久シク未ダニ我々ノ期待ヲ満足スル實績ヲ示シテ戴ケマセヌ、議會ニ於テモ色々ノ陰路ハ打開サレタ、特ニ木材ノ統制ノ如キモ自由販賣ノ形ニ於テ我々ノ手ニ入ルト申サレ

マシタケレドモ、街ノ現實ハ入りマセヌ、總裁ハ地木社ハ開店休業中デアケレドモ、木材統制ハ解ケテ居ラヌコトヲ御承知ナイカ、一體地木社ガナクナツテ、是ヲ統制ハ何故解カヌノダ、地木社ハナクナツテモ、統制ヲ解カナイ所ニ色々ノ操作ヲナシツ、日本社ノ赤字ヲ、國民ノ負擔ニ依ツテ帳消シヨウト云フヤウナ愚イ操作モ、必要ナコトデアリマスケレドモ、國民ハ左様ナ疑惑ヲ現在持ツテ居リマス、私ハモツトテキキヤラレルト云フコトハ、政府ノ爲ニ是非シテ欲シイ、木材ガナイノデハナイ「マッカーサー」ノ指示ニ依ツテ出セル木材ガアルノナラ、何故事前ニ政府ハソレヲ出サヌカ、私ハセメテ出シ得ルモノナラバ、政府ノ手カラ出シテ貰ヒタカツタガ、出シ得ルモノスラ 政府ガ出サヌデ、「マッカーサー」ニ出シテ貰ツタト云フコトハ、國民感情ノ上カラ政府ヲ信任シナイデハナイガ、「マッカーサー」ニ好感ヲ持タズニハ居ラレヌデハナイカ、ナシ得ルコトスラナサナイ政府ノ此ノ態度ヲ、私ハ日本ノ爲ニ洵ニ惜シマザルヲ得マセヌ(拍手)御料林ノ御下賜モアツタト云フ、ドウ云フ形ニ於テ國民ノ上ニ戴ケルモノデアルカ、由來君民ノ間ニ障壁ヲ作ツテ温カキ君ノ御心ヲ民ニ通ゼ

シメナカツタ前例ハ幾ラモアル、斯ウ云フ時ニコソ、殊ニ渾沌タル思想ノ今日ニ於テこそ、政府ハ何ヨリモ御下賜ノ木材ガアレバ、柱一本ニテモ多クノ民草ノ上ニ行渡ラレルヤウナ親切コソナケレバナラヌノデアアルマイカ、復興ノ遅々タル原因ノ中ニ、運送ノコトガ取上ゲラレテ居リマス、貨物自動車ハ軍カラ差繰ツテ貰ツタト云フ、何故動かヌカト聴ケバ、部品ガ盗マレテ何トモナラス、斯ウ答ヘラレル、木材ガアツテモ製材ガ出来ヌカラ渡サレナイト云ハレル、製材所ガ焼ケタコトハ今ノ話デハナイ筈ダ、斯ウ云フ不親切サガ私ハ度重ツテ政府ノ不信任ト云フ結論ガ自然ノ中ニ醜態サレテ行クノデハナイカ、寒波ハ既ニ襲来シテ居ル、昨日ノ如キハ零下二度ヲ示シマシタ、少シハ「ヒーター」ノ中カラ街ノ罹災者ノ上ニ心ヲ馳セテ、底冷えノスル壕舎ノ中カラ肉親ノ子供ノ寒サヲ身ヲ以テ庇ヒナガラ、霜夜ノ長サヲ啣ツテ居ル巷ノ人ノ上ニ温キ思ヒヲ運ラシテ下サイ、私ハ斯様ヲ建前ニ於テ茲ニ決議案ヲ朗讀シテ、各員ノ賛成ヲ求メヨウトスル者デアリマス、即チ

テ國力ハ銷盡シ同胞ハ或ハ非業ノ死ヲ遂ゲ或ハ家財ヲ喪ヒ焦土ノ中ニ彷徨セリ  
政府ハ之ニ應ヘテ機關ヲ設ケ計畫ヲ進ムト雖モ未タ切ナル施策ヲ講セラレタルヲ見ス而モ依然トシテ官僚的事務ニ踰躅シ徒ニ机上ノ計畫ニ曼如タルノ感ナクンハアラス斯クテハ食糧ノ窮乏ト迫リ來レル寒氣ヲ前ニシテ倍、戰災同胞ヲ苦難ノ淵ニ沈潛セシムルノ外ナシ仍テ政府ハ速ニ民生ノ安定ヲ確保シ經濟ノ再興ヲ促進スル爲萬難ヲ排除シテ強力果敢ニ抜本塞源ノ復興施策ヲ斷行スヘシ  
右決議ス  
○議長(島田俊雄君) 討論ノ通告ガアリマス、之ヲ許シマス——河野密君

○河野密君 我ハ只今上程ノ決議案ニ對シマシテ、極メテ簡潔ニ贊成ノ趣旨ヲ申述ベタイト存ジマス、本決議案ノ趣旨ハ極メテ明瞭デアリマシテ、何等喋々ヲ要シマセヌ、要ハ全國一千万ノ罹災者ニ對シテ速カニ其ノ家ヲ興ヘ、其ノ衣服ヲ給シ、其ノ食糧ヲ確保シ、以テ生活ノ安定ヲナサシムルコトデアリマス  
回顧スレバ昨年ノ春初メテ北九州ニ「ビー」ニ九ノ來襲ヲ見テヨリ、本土ノ空襲ハ日ヲ逐ウテ激化シ、殊ニ「サイパン」ヲ失陥シ、「グアム」ヲ敵手ニ委ネテヨリハ、日本全土ハ全ク「ビー」ニ九ノ蹂躪ニ任スル所トナリ、家ヲ燒カル、者二百五十萬、死傷合計百萬、罹災者總數一千万ノ多キニ達シタノデアリマス、而モ最初ノ攻撃目標ハ主トシテ工場、軍需施設デアツタモノガ、終戰ニ近ツクニ從ツテ一般民家ヲ對象トスルニ至リ、大都市ヨリ中都市ヘト延ビ、交通機關ヘト爆撃ガ擴大サレ、遂ニハ廣島、長崎ノ原子爆彈ニ因ル大量的破壊ニマデ發展致シタノデアリマス、不幸爆撃ニ依ツテ生命ヲ失ヒ、身體ノ毀傷ヲ受ケタル者ハ痛惜哀悼洵ニ慰ムベキ言葉ガナイノデアリマスルガ、家ヲ燒カレ、家具ヲ失ヒ、衣食ヲ奪ハレタル者亦同情ニ堪ヘナイノデアリマス、殊ニ冬季ヲ控ヘ「バラック」ノ中ニ一家數人寒サニ震ヘテ居ル現狀ハ如何ニ見ルベキデアリマセウカ、世人口ヲ開ケバ道義ノ頹廢ヲ歎クノデアリマス、私自身モ道義ノ頹廢、民心ノ荒廢ヲ憂フル點ニ於テ、斷ジテ人後ニ落ツル者デアゴザイマセヌ、併シナガラ其ノ由ツテ來ル所ヲ見ルニ、全ク衣食住ノ不安ヨリ招來サレテ居ルノデアリマ

ス、古人既ニ衣食足ツテ禮節ヲ知ルト申シテ居リマスルガ、衣ヲ以テ寒サヲ凌グニ足ラズ、食ハ以テ飢エヲ凌グニ足ラズ、家ハ以テ雨露ヲ凌グニ足ラザル現狀ニ於テ、如何ニシテ道義ヲ説クコトガ出来マセウカ、然ルニ政府ノ施設ヲ見ルニ、一トシテ國民ノ窮狀ニ即スルモノガアリマセヌ、政府ハ曩ニ簡易住宅三十萬戸建設ノ計畫ヲ發表シ、東京都五萬戸ヲ年内ニ建設スルト聲明シタノデアリマスガ、其ノ實績ハ果シテ如何デアリマセウカ、最近ノ發表ニ依リマスレバ、年内二千五百戸ノミガ可能デアルトノコトデアアルノデアリマス、二百五十萬ノ燒失家屋ニ對シテ二千五百戸ノ建設ヲ以テ、假ニモ住宅政策是ニアリト稱スルコトガ出来ルデアリマセウカ、終戰以來政府ノナス所ヲ見ルニ、全クノ喪心ノ狀態ニアリ、徒ラニ右往左往スルノミデアツテ、一トシテ逞マシサト、頼モシサヲ感ゼシムルモノガゴザイマセヌ(拍手)曾テ傲然民衆ニ臨ミ、國民ヲ土芥ノ如クニ睥睨シテ居タ所ノ彼等ガ、今ハ全ク方針ヲ失ヒ、舵ヲ失シタル孤舟ノ如ク、波ノ間ニ間ニ漂流シツ、アル現狀ハ、眞ニ亡國ノ姿ト云フノ外ハナイノデアリマス  
准フニ今日ノ罹災者ハ總テ國策ノ犠牲者デアリマス、戰爭指導ニシテ宜シ

キヲ得、戰爭準備ニ於テ缺クル所ガナカツタナラバ、其ノ災害ヲ今日ノ十分ノ一、二十分ノ一ニ縮小シ得タモノガアルト信ズルノデアリマス、私ハ先般横須賀市ニ參ツタノデアリマスルガ、同地ハ軍港デアリニ拘ラズ、爆撃ノ餘禍ヲ殆ド蒙ツテ居リマセヌ、唯數發ノ爆彈ガ墜ニ落チテ之ヲ崩シタ程度ノ被害デアリマス、聞ク所ニ依リマスレバ、横須賀周邊ヲ護ル爲ニ据付ケラレタル高射砲ノ總數ハ、東北六縣ニ据付ケタル高射砲ノ六倍ニ當ルトノコトデアリマス、是ニ由ツテ之ヲ觀ルナラバ、若シ防備施設全キヲ得ルナラバ、敵襲ヲ防ギ得ルコトハ當然デアツタノデアリマス、然ルニ我が作戦用兵當局ハ如何デアリマセウカ、我々ハ本年ノ三月初旬、帝都代議士ノ代表ト致シマシテ、東部防衛司令部ニ同僚ノ諸君ト參謀長ヲ訪問シテ、帝都防衛ノ強化ヲ要望シ、飛行機ノ出撃ト爆撃トヲ懸望致シタノデアリマス、然ルニ當局ハ、其ノ時ニ本土決戦ニ飛行機ヲ温存セバナラヌト云フ理由ノ下ニ、之ヲ拒否致シタノデアリマス、果セル哉、其ノ直後ニ行ハレマシタ三月十日ノ東京東部、本所、深川ヲ中心トスル其ノ爆撃ヲ見タ時ニ於テ、飛行機ノ爆撃ガ一臺デモアツタデアリ

マセウカ、飛行機ノ爆撃ヲ見ルコトヲ得ナカツタノデアリマス、要スルニ今日ノ戰災者ハ國策ノ犠牲者デアリマス、自ラ戰災ヲ受ケ、川ノ沈ミ、或ハ「ブル」ニ浸ツテ罹災ヲシタ者デナケレバ、其ノ眞情ハ理解スルコトガ出來ナイト信ズルノデアリマス、政府ハ何故速カニ住宅ノ建設ヲ促進シナイノデアリマセウカ、而シテ罹災者ニ對シテ政府建設ノ標準住宅ノ如キハ、之ヲ無償ニ給與シテ然レベキモノデアルト信ズルガ、如何デアラウカ、私ハ全國一千萬人ノ罹災者ニ代ツテ強ク政府ノ施策ヲ要望シ、本案ニ賛成ノ意ヲ表明スル者デゴザイマス(拍手)

○議長(島田俊雄君) 是ニテ討論ハ結局致シマシタ、採決致シマス、本案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

(議員起立)

○議長(島田俊雄君) 起立議員、仍テ本案ハ全會一致可決致シマシタ(拍手)

此ノ際小林國務大臣ヨリ發言ヲ求メラレテ居リマス——小林國務大臣

(國務大臣小林二三君登壇)

○國務大臣(小林二三君) 戰災復興ノ事業ハ刻下喫緊ノ要務ナルニ鑑ミマシテ、政府ニ於キマシテハ凡ユル努力ヲ傾注シテ戰災復興ノ推進ニ當ツテ居ル次第デアリマス

先ツ急務中ノ急務デアル住宅建築ノ仕事モ、資材、勞力、食糧等各方面ノ隘路モアリマスガ、漸次ニホドイテ參リマシテ、漸ク大體ノ見込モ付キマシタ、殊ニ越冬對策トシテハ、曩ニ三十萬戸ノ簡易住宅、此ノ建設ハ實ハ思フ通りニ運ビ得ナカツタノデ、頗ル遺憾トスル所デアリマスガ、目下銳意實行中デ、本年末マデニハ彼此レ二萬戸位ハ出來ルダラウト云フ、是モ漸ク見込ガ付イタ位デアリマスガ、併シ來年ノ三月マデニハ大體計畫ノ半分位ハ出來ルヤウニシタイト一生懸命ニツツテ居リマス、進行ガ遅レテ洵ニ申譯ガナイト考ヘテ居リマス、併シ各方面ノ自力建設ニ依ル建築方面ノモノハ、建坪ニバ多少ノ制限ガアリマスガ、是マデノ色々ノ制限ヲ緩和シ自由ニ認メテ居リマスノデ、是ハ頗ル旺盛デ、此ノ分ハ既ニ二十萬戸以上モ出來テ居ル現狀デアリマス、又戰災者等ノ皆サンノ爲ニ緊急ニ住宅ヲ供給シ得ルガ爲ニ、住宅緊急措置令ニ依リマシテ、遊休建物ニ對シマシテモ、其ノ使用權ヲ設定シ、以テ戰災者ニ對シテ居住施設ヲ供給シ得ルト云フ應急處置ヲ講ジタノデアリマスガ、此ノ成績ハ有望デアリマス、只今マデ十二月五日現在デハ、十七萬三千一百一坪、一萬二千以上ノ世帯ガ利

用サレテ居リマスガ、是ハ非常ニ注文ガ多イノデ、益々増加スル見込デアリマス、尙ホ應急住宅措置、此ノ施設ノ建設補助金ト致シマシテモ、政府ハ約四千七百萬圓ヲ豫備金ニ御願ヒシマシテ、來春マデノ間ニハ此ノ建設補助ニ依ツテ、以テ窮迫ノ状態ニアル戰災者ノ皆サンニ、成ベク低廉ナル住宅施設ヲ供給シヨウト考ヘテ居ル次第デアリマス、尙ホ二十一年度以降ノ復興院諸施策ニ付キマシテハ、目下關係各廳、各地方ノ當局者ト緊密ナル連絡ヲ取りナガラ、著々施策ヲ推進ニ當ツテ居ル次第デアリマス、而シテ復興計畫ニ付キマシテハ、國土計畫ヲ基礎トシ、全國百二十二達セル戰災市町村ハ、地方的特色ヲ發揮シ得ル自治的機構ニ依ツテ特色ノアル都市ヲ復興シ、新日本建設ニ資センコトヲ目標トシテ居ル次第デアリマス、ソレガ爲ニ官公民ノ一致シタル御努力ヲ御願ヒシ、計畫ノ樹立、事業ノ遂行ニ當ツテハ特ニ皆サンノ御助力ヲ御願ヒシタイト考ヘテ居リマス(拍手)

○議長(島田俊雄君) 日程第一、國家總動員法及戰時緊急措置法廢止法律案ノ第一讀會ヲ開キマス——橋橋法制局長官

第一 國家總動員法及戰時緊急措置法廢止法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

國家總動員法及戰時緊急措置法廢止法律案

國家總動員法及戰時緊急措置法ハ之ヲ廢止ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定メ

本法施行ノ際現ニ存スル舊法ニ基ク勅令ニ付テハ本法施行後六月間ヲ限リ舊法(國家總動員法第一條乃至第三條ノ規定ヲ除ク)ハ仍其ノ效力ヲ有ス此ノ場合ニ於テハ國家總動員法中戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハトアリ若ハ國家總動員上必要アルトキハトアリ又ハ戰時緊急措置法中大東亞戰爭ニ際シ國家ノ危急ヲ克服スル爲緊急ノ必要アルトキハトアルハ終戦後ノ事態ニ對處シ國民生活ノ維持及安定ヲ圖ル爲特ニ必要ナル業務トシ總動員物資トアルハ國民生活ノ維持及安定ヲ圖ル爲特ニ必要ナル業務トス

前項ノ規定ニ依リ效力ヲ有スル勅令

ハ其ノ規定スル事項ノ範圍内ニ於テ  
之ヲ改正スルコトヲ妨グズ

本法施行前(附則第二項)場合ニ於  
テハ同項ノ規定ニ依ル期間内以下同  
ジ)ニ舊法ニ依リ爲シタル命令、處分  
又ハ行爲ニ係ル優先受、課税標準  
ノ計算ニ關スル特例、租税減免及損  
失補償、本法施行前ニ清算ノ開始シタ  
ル團體又ハ會社ニシテ舊法ニ依リ設  
立セラレタルモノ竝ニ本法施行前ニ  
爲シタル行爲ニ對スル罰則ノ適用ニ  
付テハ舊法ハ本法施行後(附則第二  
項)場合ニ於テハ同項ノ規定ニ依ル  
期間經過後)ト雖モ仍其ノ效力ヲ有  
ス

〔政府委員橋樑渡君登壇〕

○政府委員(橋樑渡君) 只今上程セラ  
レマシタ 國家總動員法及戰時緊急措置  
法廢止法律案ニ付キ提案ノ趣旨及ビ法  
案ノ大綱ヲ御説明申上ゲマス

シ、國防目的達成ノ爲メ全國力ヲ最モ  
有效ニ發揮スル爲メ各般ノ資源ヲ統制  
運用スルノ目的ヲ以テ、去ル第七十三  
帝國議會ノ協賛ヲ經テ制定セラレタノ  
デアリマス、而シテ本法ハ昭和十三年  
五月其ノ施行以來、國防目的達成ノ爲

メナサレタル各般ノ統制ノ根幹タル法  
律トシテ廣ク其ノ適用ヲ見テ參ツタノ  
デアリマス、又戰時緊急措置法ハ戰爭  
ノ最終的段階ニ於テ、國家ノ危急ヲ克  
服センガ爲メ應機ノ措置ヲ講ズル必要  
上、去ル第八十七議會ノ協賛ヲ經テ  
本年六月ニ制定公布セラレ、政府ニ對  
シ、強力ナル非常措置ノ權限ヲ與ヘタ  
法律デアリマス、終戰後ノ今日ニ於キ  
マシテハ、總テノ戰時法令ハ何レモ能  
ク限リ整理改廢ノ致スベキデアリマス  
ガ、特ニ此ノ二法律ハ戰時法令ノ根幹  
ヲナスモノデアリマスカラ、一刻モ早  
ク之ヲ整理スルコトガ妥當ト信ジ、茲  
ニ兩法律ノ廢止法律案ヲ提出致シタ次  
第デアリマス

唯終戰後ノ諸般ノ事情ニ即應スル善  
後措置ヲ十分ニ講ズルコトナクシテ、  
直チニ是等ノ法律ヲ廢止致シマスナラ  
バ、是等ノ法律ニ依リテ形成サレマシ  
タ現狀ヲ急激ニ改變スルコトナリ、  
却テ社會秩序ノ動搖ヲ來ス虞ガアリマ  
スノデ、現ニ存スル勅令ニ關スル限  
リ、且ツ終戰後ノ事態ニ對應シ、國民  
生活ヲ維持安定セシメルニ必要ナル限  
度ニ於テ、暫定的ニ六箇月ヲ限リ、是  
等ニ法律ノ效力ヲ認メルコト致シタ

次第デアリマス、勿論其ノ間ニ於キマ  
シテモ整理スベキモノハ速カニ之ヲ整  
理シマシテ、圓滑平穩裡ニ戰時法令ノ  
廢止ニ終止符ヲ打タントスルモノデア  
リマシテ、是等ニ關シ必要ナル經過的  
規定ヲ附則ニ於テ設ケタ次第デアリマ  
ス、何卒宜シク御審議ノ上御協賛アラ  
ンコトヲ御願ヒ申上ゲマス(拍手)

○議長(島田俊雄君) 本案ノ審査ヲ付  
託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シ  
マス

○長野高一君 本案ハ政府提出入營者  
職業保障法及國民勞務手帳法廢止法律  
案委員ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミ  
マス

○議長(島田俊雄君) 長野君ノ動議ニ  
御異議アリマセヌカ

○議長(島田俊雄君) 御異議ナシト認  
メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(島田俊雄君) 長野君ノ動議ニ  
御異議アリマセヌカ

○議長(島田俊雄君) 御異議ナシト認  
メマス、仍テ日程ハ追加セラレマシ  
タ、戰爭死亡傷害保險法及戰時特殊損  
害保險法廢止等ニ關スル法律案ノ第一  
讀會ヲ開キマス——濹澤大藏大臣

戰爭死亡傷害保險法及戰時特殊損  
害保險法廢止等ニ關スル法律案  
(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第一條 左ニ掲グル法律ハ之ヲ廢止ス  
戰爭死亡傷害保險法  
戰時特殊損害保險法  
第二條 生命保險中央會法中左ノ通  
改正ス  
第十九條第一項第三號中「第一號  
ニ掲グルモノヲ除ク外」及同項  
第四號中「第一號及」並ニ同項第一  
號及第二號ヲ削リ同項中第三號ヲ  
第一號トシ第四號ヲ第二號トシ第  
五號ヲ第三號トス  
同條第二項ヲ削ル  
第二十六條 削除

第二十八條 削除  
第三十條及第三十一條中「戰爭危  
險ノ保險ニ關スル業務以外ノ業務  
ニ因リテ得タル」ヲ削ル  
第三十三條 削除  
第三十四條第四項中「及第二項」及  
同條第一項ヲ削ル  
第三十五條第一項中「及第二項」ヲ  
削ル  
第三十六條中「五億圓」ヲ「二億圓」  
ニ改ム  
第四十六條 削除  
第四十九條第一項第六號及第二項  
ヲ削ル  
第三條 損害保險中央會法中左ノ通  
改正ス  
第十八條 削除  
第十九條第一項第一號中「普通保  
險」ヲ「損害保險」ニ改メ同項中第  
二號ヲ削リ第三號ヲ第二號トシ第  
四號ヲ第三號トス  
同條第二項中「第三號」ヲ「第二號」  
ニ改ム  
第二十四條第一項ヲ削ル  
第二十五條中「普通保險」ヲ「損害  
保險」ニ改ム  
第四十一條 削除

第二十八條 削除  
第三十條及第三十一條中「戰爭危  
險ノ保險ニ關スル業務以外ノ業務  
ニ因リテ得タル」ヲ削ル  
第三十三條 削除  
第三十四條第四項中「及第二項」及  
同條第一項ヲ削ル  
第三十五條第一項中「及第二項」ヲ  
削ル  
第三十六條中「五億圓」ヲ「二億圓」  
ニ改ム  
第四十六條 削除  
第四十九條第一項第六號及第二項  
ヲ削ル  
第三條 損害保險中央會法中左ノ通  
改正ス  
第十八條 削除  
第十九條第一項第一號中「普通保  
險」ヲ「損害保險」ニ改メ同項中第  
二號ヲ削リ第三號ヲ第二號トシ第  
四號ヲ第三號トス  
同條第二項中「第三號」ヲ「第二號」  
ニ改ム  
第二十四條第一項ヲ削ル  
第二十五條中「普通保險」ヲ「損害  
保險」ニ改ム  
第四十一條 削除

第二十八條 削除  
第三十條及第三十一條中「戰爭危  
險ノ保險ニ關スル業務以外ノ業務  
ニ因リテ得タル」ヲ削ル  
第三十三條 削除  
第三十四條第四項中「及第二項」及  
同條第一項ヲ削ル  
第三十五條第一項中「及第二項」ヲ  
削ル  
第三十六條中「五億圓」ヲ「二億圓」  
ニ改ム  
第四十六條 削除  
第四十九條第一項第六號及第二項  
ヲ削ル  
第三條 損害保險中央會法中左ノ通  
改正ス  
第十八條 削除  
第十九條第一項第一號中「普通保  
險」ヲ「損害保險」ニ改メ同項中第  
二號ヲ削リ第三號ヲ第二號トシ第  
四號ヲ第三號トス  
同條第二項中「第三號」ヲ「第二號」  
ニ改ム  
第二十四條第一項ヲ削ル  
第二十五條中「普通保險」ヲ「損害  
保險」ニ改ム  
第四十一條 削除

附則

第四條 本法ハ公布ノヨリ之ヲ施行ス

第五條 戰爭死亡傷害保險法第一條及第五條乃至第八條ノ規定ハ本法施行後ト雖モ當分ノ内仍其ノ效力ヲ有ス

戰爭死亡傷害保險法ハ本法施行ノ際現ニ存スル戰爭死亡傷害保險契約及第三項ノ規定ニ依リ更新セラレタル戰爭死亡傷害保險契約ニ關シテハ本法施行後ト雖モ仍其ノ效力ヲ有ス

本法施行前(前項ノ場合ニ於テハ同項ノ規定ニ依リ戰爭死亡傷害保險法第六條ノ規定ガ其ノ效力ヲ有スル間)ニ爲シタル行爲ニ對スル罰則ノ適用ニ關シ亦同ジ

本法施行ノ際現ニ存スル戰爭死亡傷害保險契約ハ本法施行後ト雖モ仍從前ノ例ニ依リ一回ヲ限り之ヲ更新スルコトヲ得

第六條 戰時特殊損害保險法第一條、第十條、第十四條、第十五條及第十八條ノ規定ハ本法施行後ト雖モ當分ノ内仍其ノ效力ヲ有ス

戰時特殊損害保險法ハ本法施行ノ際現ニ存スル戰爭保險契約ニ關シ

テハ本法施行後ト雖モ仍其ノ效力ヲ有ス

本法施行前(前項ノ場合ニ於テハ同項ノ規定ニ依リ戰時特殊損害保險法第十五條ノ規定ガ其ノ效力ヲ有スル間)ニ爲シタル行爲ニ對スル罰則ノ適用ニ關シ亦同ジ

本法施行ノ際現ニ存スル戰時特殊損害保險法ニ依リ地震保險契約ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

戰時特殊損害保險法第五條ノ損害保險契約ニ在リテハ損害保險中央會又ハ保險會社ハ同條ニ規定スル事故ニシテ本法施行後ニ發生シタルモノニ因リテ生ジタル損害ヲ填補スル責ニ任ゼズ

第七條 生命保險ニ於ケル戰爭危險(戰爭其ノ他ノ變亂ニ因ル死亡ヲ謂フ以下同ジ)ノ再保險及戰爭死亡傷害保險ニシテ本法施行前ニ生命保險中央會ノ引受ケタルモノ並ニ第五條第三項ノ規定ニ依リ更新セララルル保險ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

本法施行ノ際現ニ存スル生命保險契約ニ在リテハ保險會社ハ本法施行後ニ發生シタル戰爭危險ニ因ル保險金ノ支拂ヲ爲ス責ニ任ゼズ

第八條 本法施行前ニ爲シタル行爲ノ處罰ニ關シテハ第二條及第三條ノ規定ニ拘ラズ仍從前ノ例ニ依ル

第九條 前四條ニ定ムルモノノ外本法施行ノ際必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣(子爵滿澤敏三君)登壇〕

○國務大臣(子爵滿澤敏三君) 只今議題トナリマシタ戰爭死亡傷害保險法及戰時特殊損害保險法廢止等ニ關スル法律案ニ付キマシテ、提案ノ理由ヲ御說明致シマス

今次終戰ニ伴ヒ戰爭危險發生ノ處ハ特殊ノ場合ヲ除キ殆ト消滅スルニ至リマシタノデ、戰爭危險ノ保險ヲ目的トスル諸般ノ戰時的保險制度ヲ原則トシテ廢止スルヲ適當ト認メ、其ノ爲ニ戰爭死亡傷害保險法及戰時特殊損害保險法ヲ廢止スルト共ニ、是等諸般ノ戰時的保險ノ運営機關タル生命保險中央會及ビ損害保險中央會ノ業務内容等ニモ所要ノ修正ヲ加ヘルコトトシ、茲ニ本法律案ヲ提出致シタ次第デアリマス

震保險ハ今後之ヲ原則トシテ成立セシメナイコトト致シタデアリマス、唯戰爭死亡傷害保險ニ付キマシテハ、今日尙ホ多數ノ同胞諸君ガ海外ニ殘留セラレ、今後内地歸還ニ至ルマデハ相當程度危險ニ曝サレル場合モアリ得ルト考ヘラレマスノデ、是等ノ方々ノ便宜ヲ考慮シ、今後尙ホ一回限り現存契約ヲ更新シ得ルコトト致シタ次第デアリマス、他方戰爭保險ニ付テハ斯カル特別措置ヲ講ズル必要ヲ認メラレマセヌガ、地震保險ニ付キマシテハ、同保險ガ戰爭中ニ生ジタル地震損害ノミヲ填補スル趣旨ノモノデアル關係上、終戰後ノ實情ニ即セザル點モアリ、旁、國家財政ノ狀況等ヲモ考慮シ、本法施行ト同時ニ將來ニ向ツテ其ノ效力ヲ失ハセラルコトニ致シマシタ、固ヨリ現存地震保險契約者ニ對シ、不當ナル損失ヲ與ヘザルヤウニ此ノ點ハ十分考慮致シ、未經過保險料ノ返還等適宜ノ措置ヲ講ズル所存デアリマス

次に生命保險中央會ニ付キマシテハ、其ノ業務ノ中戰爭死亡傷害保險ノ引受及ビ一般ノ生命保險ニ於キマスル戰爭危險ノ再保險ノ引受ノ二ツノ業務ヲ廢止スルコトト致シ、之ニ關聯シテ

同會ノ經理ニ關スル規定ニモ所要ノ改正ヲ加ヘルト共ニ、從來生命保險契約ニ於ケル戰爭危險免責約款ヲ無効ナラシメテ來タ履行規定ハ、右戰爭危險再保險ノ停止ニ伴ヒ、之ヲ撤廢スルコトト致シタデアリマス、更ニ損害保險中央會ニ於キマシテハ、其ノ業務ノ重點ヲ戰爭保險ノ分野ヨリ普通保險ノ分野ニ移スコトヲ明カニ致シマシタ

尙ホ右四法ノ改廢ニ關聯シ、必要ナル經過規定ヲ設ケ、殘存事務ノ處理ノ圓滑ヲ期シタデアリマス、何卒御審議ノ上速カニ御協賛アラシムコトヲ切望致シマス

○議長(島田俊雄君) 本案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス

○長野高一君 本案ハ政府提出入營者職業保障法及國民勞務手帳法廢止法律案委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(島田俊雄君) 長野君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(島田俊雄君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、

是ニテ議事日程ハ議了致シマシタ、明  
十四日ハ午後一時ヨリ本會議ヲ開キマ  
ス、議事日程ハ公報ヲ以テ通知致シマ  
ス、本日ハ是ニテ散會致シマス  
午後二時三十九分散會

